

分野	農道の整備		事業番号	53	事業名	県営農道整備(一般農道)		
市町村名	塩尻市	(ふりがな) 箇所名	せ ば 馬		事業年度 (完了年度は見込み)	H24 ~ H28 年度		
事業概要	計画概要 (延長・巾・面積・工種など)	路面改良3,600m、橋梁補修1箇所			H23年度末事業進捗率	0	%	
	H24年度以降実施内容	同上			本工事費等ベース	0	%	
	H24年度実施内容	路面改良400m			用地補償費ベース	0	%	
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残		
	事業費計(千円)	540,000	0	0	68,000	540,000		
財源内訳	国庫支出金	270,000	0	0	34,000	270,000		
	その他	135,000	0	0	17,000	135,000		
	県債	121,000	0	0	15,000	121,000		
	一般財源	14,000	0	0	2,000	14,000		
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評 価		ランク	評点		
	必要性 (20)	計画交通量	1000台以上	500台以上～1000台未満	100台以上～500台未満	A	7	
		受益面積	200ha以上	50ha以上～200ha未満			8	
		人家連担延長	総延長の10%未満	総延長の10%以上～30%未満			5	
		小 計					20	
	重要性 (15)	農業振興地域	地区内全域指定	地区内一部指定		A	10	
		市町村農業振興計画	位置づけあり	位置づけなし			0	
		設計上の環境配慮項目	配慮項目あり	配慮項目なし			3	
		小 計					13	
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C 1.1以上	B/C 1.0以上～1.1未満	B/C 1.0未満	B	6	
		早期発現度	効果発現までの年数2年以内	効果発現までの年数3～4年以内	効果発現までの年数5年以上		0	
		コスト縮減へのとりくみ	コスト縮減有り	コスト縮減無し			6	
		小 計					12	
	緊急性 (25)	関連事業の有無	あり	なし		A	0	
		農業経営上の支障の有無	営農上の支障有り	営農上の支障無し			12	
		農村環境の改善	地域の生活道路としても必要	地域の生活道路として必要でない			10	
		小 計					22	
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な活動が強い	市町村からの要望がある	特に要望ない	B	3	
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	「関係者を中心に周知	特に周知してない		3	
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	住民意見は反映していない		4	
小 計					10			
費用対効果(B/C)		5.95	評 価 の 合 計		A	77		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本農道は広域農道松塩地区として昭和50年～平成2年に造成され、「アルプスグリーン道路」の愛称で地域の基幹的農道として、農作業、農作物の流通及び農村生活に利用されている。しかし、交通量の増大による路面損傷等によりに荷痛みや安全な交通に支障が出ており、致命的な損傷となる前に保全対策を行うことが求められている。						
	地域からの要望経緯	毎年、市が行なっている地区からの要望調査の際に、地元区から路面損傷により集出荷時に農作物が傷むため舗装改良の要望が出されるが、オーバーレイによる対症的な対応にとどまっている。						
	事業説明等の経緯	H21.2月塩尻市より本事業での農道改修の要望がある。塩尻市はH21.9～12月に平成24年度事業着手計画を財政担当課、理事者へ説明し了解を得る。H23.3月市議会でH23計画策定費の予算成立。(23.5.10)関係区長等に説明。						
	環境・景観への配慮項目	既設構造物の補修、改修工事であり、環境への負荷は少ない。高欄の塗装色を周囲の景観に配慮した色彩とする。路盤材、表層材料は再生材の利用を推進する。						
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。						
特記事項	特になし。							
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他			
部意見	路面の損傷が著しく、農産物の輸送や通作のほか地域交通にも支障を来していることから、必要性、重要性、緊急性が高い。		政策評価課見	必要性が高く、重要性・緊急性も認められる。				